

科目名	翻訳研究			ナンバリング	COM262	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	小池久恵	担当教員					

授業の概要	英語と日本語のそれぞれの背後にある文化の違いに留意したうえで、英語の文章を日本語の文章に翻訳する作業を実践する。この作業を通じて、翻訳の意義と楽しさを実感として味わうことを主な目的とする。						
到達目標	① 翻訳に必要な知識・目的・訳し方について具体的に説明することができる。 ②文法事項をふまえて翻訳を実践する際の基礎(コツ)を英文解釈に応用することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	翻訳作業の楽しさを実感するために、予習と復習を十分におこない翻訳のコツを身につけること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①翻訳に必要な知識・目的・訳し方について説明できる。 ②翻訳の基礎(コツ)を説明できる。 ③書かれた目的を考えて訳す翻訳(解説文)の要点を説明できる。 ④想像して訳す翻訳(小説など)の要点を説明できる。 ⑤視覚や聴覚を使う翻訳の要点を説明できる。 ⑥マニュアルや広告など顧客を意識した翻訳の要点を説明できる。	①翻訳に必要な知識・目的・訳し方を確実に身につけ英文翻訳に応用できる。 ②翻訳の基礎(コツ)を応用して英文翻訳ができる。 ③書かれた目的を考えて訳す際の要点を身につけ、解説文などの翻訳に応用できる。 ④想像して訳す際の要点を身につけ、小説の翻訳に応用できる。 ⑤視覚や聴覚を用いる翻訳の要点を身につけ、絵本・コミック・歌詞の翻訳に応用できる。 ⑥顧客を意識した翻訳の要点を身につけ、マニュアルなどの翻訳に応用できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○	○		60%
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		30%
授業態度・授業への参加	○		○	○			10%

課題、評価のフィードバック	毎回テーマごとに与えられる課題の添削・返却及び解説をおこなう。
---------------	---------------------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	イントロダクション(1)	翻訳について何を勉強すべきかや翻訳の種類には何があるのかを考える。	
	第2回	イントロダクション(2)	翻訳に必要な知識・目的・訳し方について具体的に説明する。	
	第3回	翻訳の基礎(1)	主語の扱いや、無生物主語の文の訳し方を実践する。	
	第4回	翻訳の基礎(2)	単語の意味内容を理解して正確に伝えるための訳し方を実践する。	
	第5回	翻訳の基礎(3)	関係代名詞、受け身の文、比較の文の訳し方の注意点を理解する。	
	第6回	翻訳の基礎(4)	倒置文や、強調語を用いたさまざまな強調表現の訳し方を実践する。	
	第7回	翻訳の基礎(5)	時制に注意して例題文を訳すさいの要点を説明する。	
	第8回	翻訳の基礎(6)	話法の訳し方について意味がよりよく伝えられる方法を考える。	
	第9回	翻訳の基礎(7)	これまでの学習をふまえ、自然な表現に訳すために必要な知識について説明する。	
	第10回	翻訳の応用(1)	書かれた目的を考えて訳す翻訳(解説文)の要点を理解して英文を訳す。	
	第11回	翻訳の応用(2)	想像して訳す翻訳(小説など)の要点を理解して英文を訳す。	
	第12回	翻訳の応用(3)	絵本・コミック・歌詞・字幕を取り上げ、視覚や聴覚を使う翻訳の要点を理解して英文を訳す。	
	第13回	翻訳の応用(4)	マニュアルやカタログといった顧客に優しく訳す産業翻訳の要点を理解して英文を訳す。	
	第14回	翻訳の応用(5)	広告のキャッチコピーを取り上げ顧客を意識した翻訳の要点を理解して英文を訳す。	
	第15回	まとめ	翻訳の種類と方法について復習し、これまで学習してきた内容の理解度を確認する。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		課題翻訳の内容と理解度を確認しながら進めて行く。 各自の作業が中心となるが、ペアワーク、グループワークもおこなう。		
授業外学習の指示		配付資料を読み、毎回与えられる課題に取り組み、予習して授業にのぞむこと。 授業内容を復習し、要点を整理しておくこと。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	プリントを使用する。
参考書	授業時に紹介する。
参考URLなど	
その他	